

ベルマーク新聞 10月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

93万点を1年で集めた秘密は…

 2018年度全国1位、横浜市立駒岡小が累計400万点



みんなで「1」のポーズ。前列右から3番目が宇田委員長、後列右から5番目が今久保副委員長

横浜市鶴見区の市立駒岡小学校(中山正之校長、児童数751人)は昨年度93万4543点のベルマークを集め、全国1位の集票成績に輝きました。前年の31万点余から3倍もの集票アップ。3月には累計400万点を達成しました。その秘密はどこにあるのでしょうか?

同校はオリジナルの「ベルマークシート」を使っています。横1列にマークを5枚貼り、企業番号と点数を書き込むシートが、1枚の紙に6~7列印刷され、短冊のように切り取って使います。

作業を担うPTA学年委員会が年9回発行する「ベルだより」にも印刷されています。「この方式は集計が楽。お子さんが台紙にマークを貼り、親子で楽しんでいるという声も聞きます」と委員長の宇田由美子さん。忙しい人はマークを貼らず

に封筒に入れてもいいと伝えているそうです。

また、駒岡小のある地域は近年、学区内に大型マンションや住宅ができたそうで、宇田さんは点数増加の理由に「児童数の増加」もあげました。さらに続けて「『この方』の存在が……」と、そばにあったトートバックに触れました。

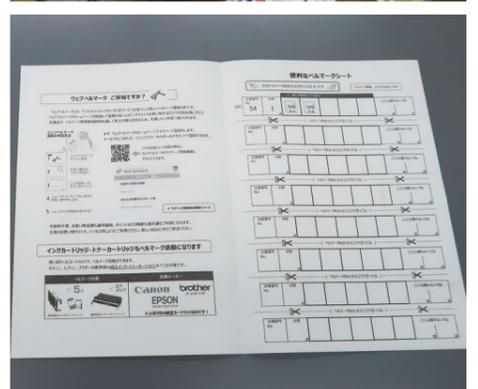
バックの持ち主は、お子さんが駒岡小の卒業生だというお母さん。今は地域の一人として、たくさんのマークを寄せてくれています。「子どもが学校に通うようになったら回収があるかも」と思ってマークを貯めてきたそうで、お子さんの入学後は少しずつマークを出していました。お子さんの進学先の中学がベルマークを集めていないとわかって昨年度は一挙にマークを出し、まだ残っている分を

今年度も出し続けてくれています。

ほかに、地域の4自治会に回覧で回収を呼びかけ、信用金庫や郵便局、地区センターなどにも回収箱を置いています。学年委員会は美化活動も担っていますが、教室用の鉢植えを仕入れる園芸店からは使用済みのインクカートリッジが届きます。学校の協力を得て昨年度からは給食の牛乳のテトラパック回収も始めました。

こうした、多くのお母さんの協力による結果が、全国1位として結実した、というわけです。

宇田さんは「もう一度、1位が取りたいです。ベルだよりでもどんどん告知をして、楽しく読んでもらえるようにしたい」と意欲を話してくれました。



④トートバックから預けられたマークを取り出す
⑤テトラパックの作業中
⑥ベルだより掲載の「便利なベルマークシート」

駒岡小のみなさん、
ありがとうございます!!



東北3県の139校に総額1200万円

 東日本大震災被災校支援

東日本大震災から9年目を迎えた今年度、ベルマーク教育助成財団は岩手・宮城・福島3県の小中学校139校に対し、総額1200万円相当の支援を実施します。

支援先の内訳は以下の通りです。

岩手 小学校33校、中学校24校/宮城 小学校15校、中学校31校/福島 小学校26校、中学校10校

支援先の学校名は5ページに掲載しています。

各県の小中学校長から支援先の推薦をいただきました。福島県の小学校は複数校が一つの校舎で学んでいるケースも多く、支援単位としては17グループになりま

す。

支援内容は①ベルマークの「お買いものガイド」から必要な備品を選んで購入してもらう②児童・生徒の移動の手段としてのバス代補助、の二通りです。小学校では備品、中学校ではバス代を希望する学校が多いようです。

ベルマーク財団は2011年の震災発生直後、ノート10万冊・鉛筆10万本を被災校に贈ったのを皮切りに、東北3県の小中学校を中心に支援を続けてきました。今年度分を含め、これまでに支援した学校は1893校、支援総額は4億9000万円相当になります。

支援の原資は、ベルマーク運動参加校がお買いものをした際に生まれる、購入額の10%の援助資金と、各校から寄せられた友愛援助の現金寄付、そして「被災地に」として送られてくる震災寄贈マークです。ベルマーク運動に携わるみなさまの思いの集積が、被災校を支えているのです。

震災から時がたち、復興事業も進んできましたが、原発事故の終息点が未だに見えないように、その傷跡は今も深く残っています。ベルマークはこれからも、被災地に寄り添って歩んでいきたいと考えています。

世界チャンピオンに一輪車を教わった！

徳島・三好市立下名小

運動会で新しい技を見せたい！——。徳島県三好市立下名小学校(西浦智代校長)で8月29日、全校児童12人が参加して、ベルマーク財団のへき地校支援プログラム「一輪車講習会」が開かれました。

吉野川の名勝「大歩危峡」にも近い山あいの小学校。妖怪「子泣き爺」の故郷、といわれ、近年は「妖怪伝説」による町おこしに力を入れていて、子どもたちも子泣き爺のコスプレで「妖怪フェスティバル」に参加したり、妖怪にちなんだお菓子のレシピを考えたりしているそうです。



地域のお年寄りたちも交えて9月に合同運動会を開きますが、そこで披露する一輪車の演技を6月中旬から練習していました。児童数は2年生2人、3年生1人、4年生3人、6年生6人の計12人。今年度はベルマーク財団のへき地校支援で一輪車6台の寄贈も決まり、「講習会」開催へと話が進みました。



先生役は日本一輪車協会インストラクターの鈴木奈菜さんと須郷真弥さん。2人とも世界大会で優勝した

経験もあるエキスパートです。まずは音楽に合わせての模範演技。2人の息もぴったりで、繰り出される高度な技の数々に、子どもたちの目は釘づけ。

続いて一輪車の仕組みや安全な乗り方、サドルの高さといった基本を学びます。先生たちも含めてどよめきが起ったのは、ペダルに置く足の位置について。土踏まずではなく、もう少し前、足の幅が一番広い部分で踏むと格段にバランスが良くなり、動きやすくなるのです。



大半の子どもたちが一輪車に慣れており、次々と連続技に入っていきます。「いいね、いいね」、「お、バッチリ！」。先生たちからの声に、子どもたちも嬉しそうです。2人一組で手をつないだり、つなぎかえたり、片手を離して回転したり、逆回転に移ったり。子どもたちは息を弾ませつつも、目を輝かせていました。

授業の後、鈴木さんは「練習を繰り返せば技は絶対にできるようになります」、須郷さんは「周りを見て落ち着いてやるのが大事です」とエールを贈りました。4年生の大黒冬真くんは「失敗もあったけど色々なことを覚えました」、6年生の上谷玲七さんは、「2人が本当にかっこ良かった」と話しました。翌週に届いた校長先生からのメールには、刺激を受けた子どもたちが「休み時間に運動場で自主練習に取り組んでいます」と書かれていました。



授業の後、鈴木さんは「練習を繰り返せば技は絶対にできるようになります」、須郷さんは「周りを見て落ち着いてやるのが大事です」とエールを贈りました。4年生の大黒冬真くんは「失敗もあったけど色々なことを覚えました」、6年生の上谷玲七さんは、「2人が本当にかっこ良かった」と話しました。翌週に届いた校長先生からのメールには、刺激を受けた子どもたちが「休み時間に運動場で自主練習に取り組んでいます」と書かれていました。

和歌山・田辺市立大坊小

標高180メートルの高台に位置し、田辺湾や白浜を一望できる景勝地に、田辺市立大坊(おおぼう)小学校(玉井朋子校長)があります。明治6年(1873年)創立で140年以上の歴史があります。現在の児童数は20人で、今年3月に木造の新校舎が完成しました。周囲は「大坊みかん」で知られるみかん畑や梅園が広がり、自然が豊かな場所です。



9月4日の一輪車講習会は、国際大会や全日本大会で優勝や数々の入賞経験がある鈴木奈菜さんと、大学2年生ながら国際大会と全日本大会のトラックレース部門でともに4連覇中という現役の世界チャンピオン、高田朝日さんの2人が講師です。高田さんは100メートルと400メートルの世界記録ももっていて、昨年の国際大会ではフリースタイルペア演技でも妹さんと組んで優勝した第一人者です。

講習会ではまず、多目的ホールで2人が模範演技を披露しました。フィギュアスケートのような華麗な高速スピンの、児童たちは息をのんだまま、あっけにとられたようで声も出ません。「反応していいよ」と促され、ようやく「すごい」の声とともに大きな拍手がわきました。



この後、校庭で実技指導。同小は30数年前から一輪車に取り組んでいて、体育の授業や2校時と3校時の間の「業間体育」の時間に練習しているそうです。9月21日の地区の運動会でも演技を披露します。



まだうまく乗れない1年生は鉄棒につかまりながら練習を始め、3・4年生はメリーゴーラウンドやループ、5・6年生は片足走行や王冠と呼ばれる輪になったの演技に取り組みました。補助なし乗車に初めて成功した2年生の坂本結愛(ゆな)さんは「足をどうもっていくかを教わった。一人で乗れてうれしい」。5年生の坂下彰希(あき)くんは片足走行でバランスを取りながら反対側の足を斜めに伸ばして進む技に成功し、「いろいろな技を覚えるのが楽しい」と声を弾ませました。

最後に、運動会で披露する一輪車での入場行進や演技についてアドバイスや実技指導を受け、3時間半ほどの講習会が終了しました。玉井校長は「プロの方からこうした指導を受け、子どもたちは貴重な体験をさせてもらいました」と話しました。学校を引き揚げる



際には、数人の児童が玄関に見送りに出て、「世界チャンピオン！」と講師に握手を求めています。

岡山・真庭市立中和小

B級グルメ「ひるぜん焼そば」でも知られる西日本有数のリゾート地・岡山県の蒜山高原にほど近い山間に、真庭市立中和(ちゅう・か)小学校(木田訓祥校長)があります。校庭の一角には、古い由緒をもつ中和神社が鎮座し、シンボルの三本杉「ほこ杉」が天を衝いています。実はこの神社、2010年に惑星探査機「はやぶさ」がエンジントラブルを起こして帰還が困難かと思われたとき、エンジンの重要部品「中和器」と名前が通じる縁で、スタッフが無事帰還を祈って参拝したところ見事に願いが叶い、「道中安全の神様」の名を一躍高めたというエピソードがあります。



一輪車講習会は9月26日に開かれました。全校児童23人が体育館に集合。「おはようございます！」と大きな挨拶が響きます。先生は一輪車の世界大会でも優勝経験のある鈴木奈菜さんと須郷真弥さん。次々と披露される技に、子どもたちは「うわっ！」「すごい！」「へ



え！」。音楽を使った競技会形式の演技には、大歓声と大拍手がしばらく鳴りやみませんでした。

一輪車が16台しかないこともあり、まずは乗れない子に乗れる子が手伝いで付きます。体育館ステージの縁に手をつけて、乗り方やサドル上の姿勢とバランスを体で覚えていきます。「背中を伸ばして」「まっすぐ前を見て」。一輪車の基本のキともいえる「姿勢」についての注意が何度も飛びます。

後半は初心者組と中級者組に分かれて練習。中級者組は真っすぐ進んで壁まで行き、正しく安全に降りることに何度もトライします。早くできた子はアイドリングにも挑戦しました。



最後は整列して「振り返りタイム」です。「何か言いたい人？」という先生の問いかけに次々に元気な手が上がります。「支えがあっても落ちるか怖かったけど、今日でちょっとやる気が出ました」(1年・田中美安さん)、「8の字走行も宙乗りもとても難しかった」(5年・森田晴喜くん)、「一輪車は苦手だったけど、今日楽しいことが分かった」(3年・鈴木ひなさん)。

言葉の一つ一つに笑顔でうなずきながら、鈴木さんは「この短い時間でみんなすごく上手になりました」、須郷さんは「みんなが同時に乗って進んで、降りられたらとても楽しい。チャレンジしてみてください」と励ましの言葉を贈りました。



防災科学教室、今年もナダレンジャーでスタート

千葉・市川市立大和田小で今年度第1回



ベルマーク財団の教育応援隊のひとつ「防災科学教室」が今年も始まり、9月14日、千葉県の市川市立大和田小学校(青山了司校長、児童509人)で最初の教室が開かれました。防災科学技術研究所との共催で、今年度は全国16校で予定しています。

講師は防災科研の納口恭明(のうぐち・やすあき)研究員。「Dr.ナダレンジャー」として年に200回以上の出前授業をしています。児童や保護者ら155人を前に、納口さんは金のカツラにメガネ、地下足袋姿で登場しました。でも、いつものヒゲがありません。準備運動と称して皿回しを披露した後、「慣れたと思うので、ナダレンジャーに変身していいですか？」と緑のヒゲを装着。子どもたちは大笑い。つかみは万全です。

強い風が真っすぐに飛んでくる「突風マシン」や、雪崩が迫る様子を体感できる「ナダレンジャーマイナス1



号」、地盤の液状化を再現する「エッキー」など、様々な種類の道具を使って災害のメカニズムを伝えます。「災害は、巨大だから怖いんだよ。でも、ミニチュアになると、災害は全部おもちゃになります」

高さの違うビルに見立てた3つのスポンジで揺れ方の違いを見たあとは、発泡スチロール製のブロックを高く積み上げての実験。児童がダンゴムシのように身を丸くしてスタンバイする中、ゆっくりとしたリズムで台車を揺らすと、約10秒後にブロックは見事、崩れました。「本当に起こったら大変なんだよ。地震の時はブロック塀のそばに寄っちゃだめ」

授業が終わると、ナダレンジャーは冷静な研究者である納口さんに戻ります。PTAの役員らへのあいさつで、この日の授業の趣旨を、こんな言葉で語りました。「科学の所作を知り、災害と向き合うことです」



⑥「ゆらゆら3兄弟」も登場
⑦「マイナス1号」はさらに巨大
⑧大きくなる棒に「うわーっ！」

Dr.ナダレンジャーがテレビ出演

防災科学教室や理科実験教室でおなじみの「Dr.ナダレンジャー」こと、防災科学技術研究所の研究員・納口恭明さんへのインタビューが、民放テレビで全国放送されました。9月17日のテレビ朝日系「羽鳥慎一モーニングショー」です。羽鳥氏が茨城県つくば市の防災科研を訪問して話を聞きました。

豪雪災害の現地調査を通じて「自然災害のメカニズムは研究者だけのものにしてはいけない」と考え

た納口さんは、知識を共有していくために、試行錯誤して今のナダレンジャーのサイエンスショーを作り上げたそうです。ショーの最後はいつも素顔を明かし、「現実には起こったら怖い災害であることを忘れないで」と呼びかけます。

人生で成功するために必要なことは？と問われた納口さんは「好奇心を持つこと」と即答。それが現象をより深く理解するのに重要だと話しました。



目が不自由でも、自分の身を守ろう!

特別支援学校で初、塙保己一学園で防災科学教室

埼玉県川越市にある塙(はなわ)保己一(ほきいち)学園で9月27日、防災科学教室が開かれました。幼稚部から高等部までである県立の特別支援学校で、目の不自由な児童・生徒たちが通っています。特別支援学校で防災教室が開かれるのは初めてです。



講師は防災科研の客員研究員で元香川県立盲学校教諭の花崎哲司さん。参加したのは小学部～高等部の約60人に、まず様々な音を聞かせて、何の音が答えさせていきます。続いて木片を握らせ、に

おいの確認も。「災害の前には、水の流れる音、石のぶつかる音が聞こえ、土のにおい、木のにおいなどがします」と花崎さん。

続いて、地震のときにとる「ダンゴムシ」のポーズの練習。ピーナッツを配って、指でその形のイメージを作ります。座った状態から体を前に傾けて丸め、頭を下げ、手は首の後ろに。「地震のときは頭を守るのが大切です」

花崎さんは、「助けて」と人に言える勇氣を持つことの大切さをみんなに語ります。その一方で、「目が見える人でも苦手なことがある。いざというとき、君たちが手助けしたりアドバイスすることができるかも知れません」と話しました。

その後は体験タイム。泥水が入ったビニールプールに裸足で入ると、足には砂利が当たります。災害時に避難する感覚を養うのです。また50%ほどに土を盛っ

た山にミニチュアの家を置き、上から水をかけて土砂崩れのミニ版を発生させ、手でさわって確かめます。水をかけると土のにおいもしてきます。「埋まったのは家の山側?谷側?」「山の方!」「1階と2階、どちらが安全?」「2階!」



授業の終わりに先生に感想を聞かれた子どもたちは、「災害が起きたらどう行動するかの勉強になりました」「大雨が降るだけで家が土砂に埋まるのには驚きま

した」「大切なことを学べてありがとうございました」と口々に語りました。それを受けて柳澤正則校長は「今日の経験を生かして、みんな安全に身を守れるようにしてくださいね」と話しました。

授業を終えた花崎さんは「見えにくさのために自分で自分の身を守れないというのは思い込み。体験してみれば、意外とできる、となる。先生方もよく協力してくれた。学校の防災力を担うのは先生ですから」と振り返りました。



町のみんながベルマークを応援

北海道・佐呂間町の「協力隊」活動



①左から2番目が山保浩之さん。町民からマークを受け取る
②佐呂間町産のジャンボかぼちゃ
③牧場
④サロマ湖展望台
(①③④は佐呂間町役場提供、②は港区提供)

北海道のオホーツク海側に位置する佐呂間町は人口約5200人。北側は日本三大湖のひとつ、サロマ湖に面しています。特産品は湖で養殖されるホタテ、そしてかぼちゃ。テンサイ(ビート)、小麦などの栽培や酪農も盛んです。

この町から8月下旬、1枚のはがきが届きました。地域の「かぼちゃ祭り」でベルマーク運動をPRするから、ポスターや説明書きなどがあれば教えてほしい、というものでした。差出人の山保浩之さんに聞くと、町の「ベルマーク協力隊」の代表とのこと。学校だけでなく町ぐるみでマークを収集しているといいます。



佐呂間町には小学校が3校、中学と高校が1校ずつありますが、マークは学校のほか、役場や図書館、公民館、スーパーにも回収箱を置いて収集、インク・トナーカートリッジ、テトラパックも各所で集めています。仕分け・集計は年2回、地元の佐呂間高校で実施。同校ボランティア委員会の生徒たちや協力隊、PTA、ライオンズクラブのメンバーらが作業します。点数はすべて佐呂間小に集約してベルマーク預金を貯め、お買いものも各校分をまとめて実施します。

15年近く前、少子化による再編で町内の学校数が減った際、残った学校のベルマーク活動は休止状態でした。活動が

盛んだった旧佐呂間幼稚園(現・佐呂間保育所)のPTAメンバーを中心に、これからも活動を続けたいとの思いが募り、話し合いを重ねた結果、町全体の問題としてPTA連合会でベルマークに取り組むことになりました。2009年に活動はスタート。翌年「ベルマーク協力隊」が結成されたそうです。

以来、少しずつ貯めたマークが10万点を超え、昨年、初めて「お買いもの」をしました。協力隊が中心になって各校の希望をとりまとめ、それぞれが欲しい備品を手に入れました。佐呂間小には本、佐呂間保育所には「やわらかおまごどセット」が届きました。活動を始めてか

ら10年目のことでした。



かぼちゃ祭りは、30年以上続く町の一番大きなお祭り、別名「シンデレラ夢祭り」。今年も9月7・8日に開かれました。8日は町社会福祉協議会による「ふれあい広場」が設営され、その出店の一角で、山保さんたち「ベルマーク協力隊」は看板を出して運動の仕組みを説明、マークの回収もしました。

「他のボランティア団体とも交流できて、新たな可能性を感じました」と山保さん。今後もベルマークについて「もっとたくさんの人に知ってもらいたい」と話しました。

労組でマーク集めて寄贈

損保ジャパン日本興亜労組中部分会

損害保険ジャパン日本興亜の労働組合中部分会が9月6日、ベルマーク4万7475.9点を寄贈しました。同社の中部本部が管轄する愛知・岐阜・三重3県の各部署で5月から7月までに集めたそうです。

中部分会委員長の大榎啓太さんと三重部会長の竹内慎之介さんがベルマーク財団を訪れ、マークを手渡しました。組合の会議で上京した足で立ち寄ってくれました。

分会内の地域貢献チームが、分会全体でのマークの収集を提案したことがきっかけで、収集活動が始まりました。

中部分会が働きかけた収集活動は今回が初めて。「組合員の関心はかなり高かったです。活動後に行ったアンケートでは、自宅で集めていたけれど、どこに寄付したらいいかわからなかった、といった声や、こんな商品にマークが付いていた、という反響がありました」と、竹内さんは手応えを話してくれました。

「私たちは保険会社。集めたマークは被災地のために使ってください。マークの収集は今後も続けていきたいです」と大榎さん。ありがとうございました。



財団職員にマークを手渡し大榎啓太さん(中)と竹内慎之介さん(右)

ヴァンフォーレ甲府でマーク回収イベント

ホームゲームで年1回、これで7年連続

サッカー J2 ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム恒例のベルマーク回収イベントが9月21日、山梨県甲府市小瀬の山梨中銀スタジアムでありました。ヴァンフォーレ甲府、スポンサーのはくばく、協賛会社あいおいニッセイ同和損保(ベルマーク番号92)山梨支店、地元代理店さいとうエージェンシーの4者が協力して2013年から実施しているイベントです。

毎年恒例のイベントとあってサポーターの間での認知度も高く、この日はナイトゲームなのに、スタジアム外周に設けられた「はくばくブース」のベルマークコーナー

には早くから長い列ができました。マークを5点以上持参すると、抽選ではくばく商品やヴァンフォーレグッズが当たり、50点以上なら先着順で記念品がもらえます。この日は500組近いサポーターがブースを訪れてくれました。

さいとうエージェンシーの齋藤健一さんは「今年もたくさんの方々からベルマークを持参していただいたので、とてもありがたいです。被災地の復興に繋がるので、ぜひこれからも続けていきたいと思っています」と話しました。



コロンビア共和国から「視察団」

教育関係者らが財団を見学

ベルマーク財団に9月20日、コロンビア共和国からの見学者がやって来ました。同国第二の都市、メデシン市にある「アンティオキア科学技術センター (cta)」が組んだツアーで来日した視察団です。

日本コロンビア大使館を通じて電話で依頼があり、その後、メールで概要が届きました。日本では多忙な日程を過ごすようで、見学は朝8時からに設定しました。

大使館によると、コロンビアは元々、朝が早いお国柄なのだそう。その言葉通り、一行は7時50分に財団に到着。女性3人、男性5人の計8人。学校の教師や教育行政などに携わる人たちと、ctaのディレクターです。公用語のスペイン語の通訳が同行していました。

まず財団を紹介する動画「未来を育むベルマーク」を見てもらいます。説明が日本語なので、一時停止しながら翻訳を入れていきます。17分弱の動画ですが、見終えるのに30分以上かかりました。次にマークの検収作業を見学。職員が整理袋の封を切り、中身を一気に取り出して見せようとする、「マークがぐちゃぐちゃになりませんか？」と心配する人も。いつもこの状態でマーク

を確認しているの大丈夫なのです。

1枚1枚が大切なベルマーク。職員の手元を、みな興味深げに見守ります。そのとき、1枚のマークが机から床に落ちてしまいました。すると見学中の一人がさっとかがみ、すぐに大事そうに拾い上げてくれました。

全国から届くマークを保管する倉庫では、壁に貼ってある「北海道」「東京」などの文字が興味を引いた様子。荷物を都道府県別に整理するための表示です。熱心に写真を撮る人もいました。

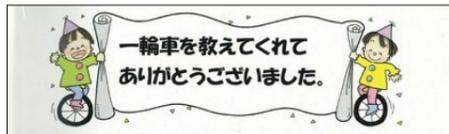
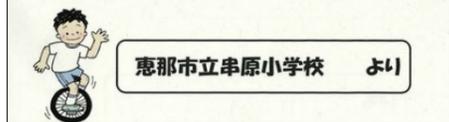
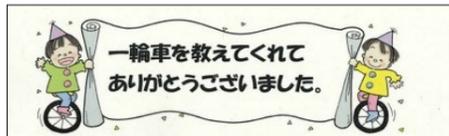
最後に、全体を通しての質疑応答。「海外援助をする団体の選び方は?」「財団で審査しています」「協賛会社に政府から特典はないのか」「ありません」……。約1時間半で見学は終了。「グラスアス(ありがとう)」「アディオス(さようなら)」。スペイン語で別れのあいさつが飛び交います。ctaディレクターのサンティアゴ・エチャバリアさんは「ベルマークのプロセスは単純ですが、それぞれがうまく役割を果たし、大きな力を発揮していることが分かりました。市民レベルでの団結力に、コロンビアとの違いを感じました」と話しました。



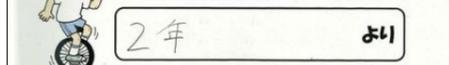
岐阜・串原小から感謝メッセージ

ベルマーク財団のへき地校支援のひとつ、「一輪車講習会」を7月に開催した恵那市立串原小学校からメッセージが届きました。

藤井志保教頭は、「鈴木選手や須郷選手の的確なご指導のおかげで、子ども達の一輪車魂にも火がつき、休み時間も練習をする子が増えてきました」とお手紙をくださいました。子どもたちからの心温まるメッセージを紹介いたします。



わたしかい知らなから
たわさか知れたので
うれしかったです。いろいろ
なわざの 中 で 3人 だけ
になりまわるとか、むすか
しかったです。3人や一年生
もいれてうんどう会に
おきてれんしゅうをして
たいです。



ベルマーク購入品を使う子どもの写真募集

お買いものガイド表紙などで紹介

ベルマーク預金でお買いものをした備品や遊具を使って、勉強したり遊んだりする子どもたちの写真を募集します。財団HPで紹介するほか、「お買いものガイド」の表紙に採用する場合もあり、その際は謝礼として1万円を差し上げます。ふるってお送りください。

ボールで遊ぶ子どもたち、楽器を演奏する子どもたち、鉛筆を削る子どもたちなど、ベルマークで購入したのものを使う子どもたちの写真であれば、どんなものでもかまいません。

【応募方法】

なるべく最近(約1年以内)に購入したものが対象です。メールに写真を添

付して「photo@bellmark.or.jp」までお送りください。写真のサイズが大きすぎる場合は、容量を下げたり、複数のメールに分けたりしてください。

メールの表題は「子ども写真応募」とし、本文に学校名(〇〇市立なども含めて)、応募した方(撮影した方)のお名前と電話番号、購入した商品名をご記入ください。また、購入品をどんな風に使っているか、使ってみての感想、子



どもたちの反応、購入に至る経緯やベルマーク集めの工夫なども、あわせてお願いします。肖像権・著作権上の問題がありそうな写真は避けてください。

◇
お買いものガイド2019年度後期号が完成しました。表紙はベルマークで買った顕微鏡をのぞく、埼玉県久喜市立栗橋小学校の子どもたちの写真です。10月中旬にはみなさまの学校にお届けします。



東日本大震災 援助対象校

岩手県・小学校 (33校=すべて備品)
▽大船渡市 盛小/大船渡小/末崎小/赤崎小/猪川小/立根小/大船渡北小/綾里小/越喜来小/陸前高田市 高田小/気仙小/広田小/小友小/米崎小/矢作小/竹駒小/横田小/釜石市 釜石小/唐丹小/鶴住居小/大槌町 大槌学園▽宮古市 鎌ヶ崎小/津軽石小/赤前小/重茂小/崎山小/田老第一小/山田町 大沢小/山田北小/山田南小/織笠小/船越小/岩泉町 小本小

岩手県・中学校 (24校=すべてバス代)
▽陸前高田市 高田第一中/高田東中▽大船渡市 第一中/大船渡中/末崎中/赤崎中/綾里中/越喜来中▽釜石市 釜石中/大平中/唐丹中/釜石東中▽大槌町 大槌学園/吉里吉里学園 中学部▽宮古市 第一中/第二中/河南中/津軽石中/重茂中/田老第一中▽山田町 山田中▽岩泉町 小本中▽田野畑村 田野畑中▽野田村 野田中

宮城県・小学校 (15校)
▽石巻市 住吉小/湊小/山下小/向陽小/飯野川小/雄勝小/前谷地小/鹿又小/中津山第一小▽東松島市 矢本西小/気仙沼市 気仙沼小/小泉小▽南三陸町 入谷小=以上備品 ▽気仙沼市 月立小/中井小=以上備品・バス代

宮城県・中学校 (31校)
▽南三陸町 志津川中/歌津中▽気仙沼市 気

仙沼中/条南中/鹿折中/大島中/新月中/松岩中/階上中/唐桑中/大谷中/津谷中▽石巻市 石巻中/住吉中/門脇中/湊中/蛇田中/渡波中/山下中/万石浦中/青葉中/雄勝小・中/河南東中/北上中/牡鹿中▽東松島市 矢本第一中/矢本第二中/鳴瀬未来中▽女川町 女川中=以上バス代 ▽気仙沼市 面瀬中▽石巻市 桃生中=以上備品・バス代

福島県・小学校 (26校=すべて備品)
浪江町立浪江小・津島小/双葉町立双葉北小・双葉南小/大熊町立大野小・熊町小/富岡町立富岡第一小・富岡第二小(三春校)/南相馬市立小高小・福浦小・金房小・鳩原小/飯館村立草野小・飯樋小・白石小/浪江町立なみえ創成小/葛尾村立葛尾小/川内村立川内小/広野町立広野小/富岡町立富岡第一小・富岡第二小(富岡校)/楡葉町立楡葉南小・楡葉北小/田村市立都路小/いわき市立豊間小/いわき市立永崎小/いわき市立久之浜第一小/いわき市立久之浜第二小

福島県・中学校 (10校)
川俣町立山木屋中/飯館村立飯館中/浪江町立なみえ創成中/葛尾村立葛尾中/双葉町立双葉中/大熊町立大熊中/富岡町立富岡第一中/富岡町立富岡第二中/広野町立広野中=以上備品
いわき市立豊間中=以上バス代

大台達成校

9月		
花岡小	山口県下松市	7,058,168
辻小	さいたま市南区	6,010,343
泰平小	さいたま市北区	5,035,373
明治北小	大分市	5,002,811
瀬谷小	横浜市瀬谷区	4,055,325
津田小	兵庫県姫路市	4,002,888
芳明小	岡山市南区	4,011,860
鴨川小	千葉県鴨川市	3,012,184
南中野山小	新潟市東区	3,078,144
大成小	三重県桑名市	3,008,883
塩草立葉小	大阪市浪速区	3,014,639
難波小	兵庫県尼崎市	3,002,379
油津小	宮崎県日南市	3,009,144
豊成小	北海道帯広市	2,000,979
川上北小	横浜市戸塚区	2,024,786
山手小	長崎県佐世保市	2,014,475
如水小	大分県中津市	2,029,452
発寒東小	札幌市西区	1,008,773
紫竹山小	新潟市中央区	1,000,926
第二中	新潟県三条市	1,037,153
紫幼稚園	富山市	1,001,156
猿橋小	山梨県大月市	1,005,039
東北中	長野市	1,003,992
安城西部小	愛知県安城市	1,056,987
山室山小	三重県松阪市	1,011,395
青葉はつが野小	大阪府和泉市	1,016,273
播磨中央こども園	兵庫県播磨町	1,016,311
八景中	兵庫県三田市	1,017,161
柳北小	山口県柳井市	1,006,420

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『丘のうえのいっぼんの木に』
(今森光彦・作、童心社)

里山が舞台の多くの写真絵本でわたしたちを魅了してきた作者が、切り絵で自然の世界を表現しました。一本のエノキが作品の舞台にして主人公。もう一方の主人公がオオムラサキで、エノキに産みつけられた幼虫が、やがてさなぎとなり、そこから蝶が現れます。その生命の営みが、白と黒のコントラストで描かれています。カラーは巻末の解説と表紙の題字だけ。ゆっくりじっくり味わいたい絵本です。(低・中学年以上向き、1400円+税)



*

『しょうぎはじめました』
(間部香代・文、田中六大・絵、文研出版)

藤井聡太七段の活躍で、小中学生の将棋人口が増えたと聞きますが、これは物語仕立ての将棋入門絵本。学童クラブで将棋に触れた主人公が、父親やおじいちゃんの手ほどきで腕を上げていきます。作者の間部さんは、将棋好きのお父さんが「香車」にちなんで名前をつけたというほどの生え抜き。子ども一人でこの絵本からルールを会得するのはちょっと難しいかもしれませんが、親子で、教室で、将棋に親しんでいくための、絶好の手引きとなりそうです。(低・中学年から、1400円+税)



*

低・中学年向け

『おじいさんは川へ おばあさんは山へ』
(森山京・作、ささめやゆき・絵、理論社)

ある日、おじいさんは川に、おばあさんは山へ出かけました。川に向かったおじいさんは、子どもたちにいじめられていたかめを助け、山へ行ったおばあさんは木にかかった羽衣を見つけ……という具合に、二人は次々に他の昔話の世界の中に入り込んでいく、とか、渡り歩く展開になります。それをつなぐのが黍団子ならぬ、おばあさんの作った玉子やきというのも楽しい。「きいろいばけつ」などの幼年文学で親しまれた作者の遺作です。(低・中学年以上向き、1300円+税)



*

『おうちずきん』
(こがしわかおり・作、文研出版)

こちらは表紙に赤い頭巾を被った女の子。「赤ずきん」のパロディーようですが、「おんなのこには、おうちがありません」と始まります。持ち物は古ぼけた頭巾だけ。「おうちがほしいな」とつぶやいた女の子の前に現れたのは、双子のようなおばあさんたち。頭巾に縫いつけてくれたドアを開くと、中はすてきな家。そしてこの家には、次々に楽しいお客さんがやってきます。このあたりの展開は、ラチョフの絵本「てぶくろ」のよう。楽しさに、ほんの少し女の子の切なさも感じられて、不思議な作品世界が味わえます。(低・中学年向き、1200円+税)



*

高学年・中学生向け

『アジアのおはなし、読んでみよう』
(「世界の子どもたち」の会・訳、上嶋恵津子・絵、てらいんく)

児童文学の世界に創作の同人誌はたくさんありますが、「世界の子どもたち」は三十年以上にわたって発行されてきた翻訳の同人誌です。今回「世界の子どもたち」傑作選」と銘打たれたこの本を読んで、本当に傑作だなと思いました。収録されているのはオセアニアを含むアジアの、そして欧米に住むアジア系の人たちの物語18編。「黒い幽霊」はカナダのムスリムの子どもが主人公。全身を黒くめでおおった母親の姿を他の子に見られるのが嫌で、なんとかごまかそうとする男の子。異文化の最前線にいる子どもたちの姿が印象的です。学校の図書



*

館にぜひ置いてほしい本だと思いました。(高学年以上向き、2200円+税)

『昔はおれと同年だった田中さんとの友情』
(柳月美智子・作、早川世詩男・絵、小峰書店)

公園でスケボーができなくなった拓人たち三人組。近くの神社の前の道はどうかと考えますが、気になるのは管理人のおじいさん。案の定、スケボーを始めた三人の前に現れますが、怒るどころか自分もやってみたいというのです。ところが転んで右手を骨折してしまい、拓人たちの親は、スケボー禁止と、一人暮らしの管理人さん(85歳の田中さん)の家に通って身の回りの世話をしよう言い渡します。話してみると意外に気さくな



*

田中さんは小学校の大先輩で、終戦直前に空襲で母と妹を失い、父と兄も戦死、それからこの地域の寺に預けられたというのです。少年たちと老人の友情という名作『夏の庭』を思い出しますが、こちらはより隣にありそうな設定という感じがして、読者はまわりの「昔は同年」だった人たちに、今までと違った目を見るようになるのではないのでしょうか。(高学年以上向き、1400円+税)

『思いはいのり、言葉はつばさ』
(まはら三桃・作、アリス館)

舞台は中国、近い昔、というぐらゐの時代か。主人公の少女チャオミンは、てん足をしています。そのチャオミンが10歳を迎えた朝から物語が始まります。チャオミンの一つ年上の友だちのジュア



*

ヌが、街に縫い物を習いに行っており、そこではニューシュ(女書)も教えてくれるというのです。ニューシュとは、女性だけが書く文字で、その不思議な美しさにチャオミンは惹かれます。10歳になったので、ジュアと一緒に通えるのです。縫い物は苦手なチャオミンでしたが、ニューシュの腕は上がっていきます。そして、あこがれのお姉さんであるシューインから、結交姉妹になろうという手紙をもらうのです。結交姉妹とは、血は繋がってなくても特別な結びつきを約束する間柄でした。シューインへの返事が、チャオミンが初めて書いた手紙でした。そのシューインが結婚すると聞き、チャオミンの心は複雑に揺れます。

時代小説ですがファンタジーのような味わいがあり、けれどもこれはあの時代に実際にいたかもしれない少女なのだということが、じわじわと心に響いてくる物語でした。(高学年・中学生以上向き、1400円+税)

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉 8月21日～9月20日
▼宮城県 山口つや子▼山形県 高橋拓哉 匿名希望▼福島県 渡辺静枝▼栃木県 赤羽根正子▼埼玉県 門岡則子 田原純子 服部由美子 池田大介 匿名希望▼千葉県 安藤明美 関田元子 村上陽子▼東京都 アートフェンス工業(株) 落合光江 鶴山英己 水ing(株) 江原美紀男 島津順子 高井美穂 日本基督教団小金井緑町教会 廣川美奈 J&J愛をささやく アンジェラ 井上恵里子 内田明美 田口薫 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株) J-MOT▼神奈川県 ASA二俣川 茅ヶ崎市立円蔵中学校 加藤晶子 加藤容子 伊東孝子 牧田知与 山下陽子▼新潟県 太谷真奈美▼富山県 池原博子▼岐阜県 近藤久美子▼静岡県 坂倉理恵子▼愛知県 Hawkclaws N.T.T.西日本東海事業本部 久保田詩音 水野陽子▼滋賀県 匿名希望▼京都府 野田美奈子 織田真理子 中尾幸重▼大阪府 岡島和子 奥田亜弥子 荒木秀人、裕治 富岡敦子 山本ゆり香▼兵庫県 医療法人社団温新会▼岡山県

NPO法人玉島たんぼぼ▼香川県 藤澤良子▼福岡県 社会福祉法人PAL障害福祉サービス事業所PAL ノブ▼熊本県 九州労働金庫労働熊本支部 小西ふじ子▼大分県 九州労働金庫大分支部▼宮崎県 岩切かおり▼損害保険ジャパン日本興亜労働組中部部会 松井恵 Goldwing▼無記名=27件
〈一般寄贈〉 8月21日～9月20日
▼北海道 吉本裕美 佐々木一織 笹原明子 佐藤玲 美唄消費者協会 伊藤咲紀江 NPO法人幹の会▼岩手県 鈴木明広▼宮城県 山口由紀子 丹治美佳 吉田サオリ▼秋田県 鈴木薫▼福島県 丹野ルリ子▼茨城県 石塚英和▼栃木県 長嶋康子 匿名希望▼埼玉県 林みさと 新井和行 飯塚幸子 斎藤昭雄 高橋玲子 市川直美 青木宏之 梅田直美 田口飛翔▼千葉県 (株)タマチ製作所 宮澤恭子 平山靖子 武井友実 山本昭博 鈴木敏子 菅原金光▼東京都 安田昌弘 直江成子 望月育子 岡崎晴美 三菱UFJニコス(株) 奥田尚美 本田美千

代 ヤマト運輸労働西東京支部 杉山大輔 武蔵野ばあば 高田橋千佳子 鈴木和子 塩野公認会計士事務所 原戸伊尚 笠原雅子 太刀川忠良 6etアプリ(株) 朝日新聞東京本社 匿名希望▼神奈川県 石黒琢一郎 阿部千栄子 東芝プラントシステム(株)経理部 IFRS・J-SOX対応推進部 三井住友信託銀行相模大野支店 川崎久美子 森裏久美子 スタンレー電気労働組 岩瀬千都子▼新潟県 地域密着型複合施設わしま 田辺加代子 匿名希望▼石川県 渡辺順子▼長野県 長野県長野高等学校保健委員会▼静岡県 清和海運(株)第四チーム 島中将也 泉谷啓子 西谷朋子 鈴木早苗 アイスター商事代理店西尾悦子 大塚京子▼愛知県 刈谷市社会福祉協議会ボランティアグループ一 起会 トヨタ部品愛知共販(株) 志水麻友美 西山光江 新海のぞみ 岡谷コンサルタント(株) 鈴木みつる 敷島製パン労働組▼三重県 岡田夏海 アイスター商事代理店川口節子▼京都府 大槻一之 野村美恵子 林康子 日本ユネスコ学生連盟 山中朝子▼大阪府 荒木妙子 松本

由美子 大西祐子 下山司 安永恒子 出口弥美 アイスター商事代理店田中康子 アズビル(株)アドバンスオートメーションカンパニー関西支社 好光里子▼兵庫県 小野和美&電話交換室メンバー 関義雄・幸代▼奈良県 杉山成▼岡山県 明治安田生命総社営業所▼広島県 天野祐子 匿名希望▼山口県 山野真理子 成田奈苗 児玉文子 匿名希望▼徳島県 武内千都子▼香川県 (公財)高松市国際交流協会 新田喜代美▼愛媛県 ベルボラ愛媛 伊藤恵美▼長崎県 久保山繁樹 白濱恵子▼熊本県 松田澄枝 明治安田生命保険相互会社熊本第二マーケット開発室 松田澄枝▼大分県 石堂泰史▼鹿児島県 竹内光子▼無記名=40件

〈友愛援助申し込み〉 9月1日～9月30日
▼東京都 聖園幼稚園(文京区) 恵泉女学園中・高(世田谷区) 第六小(小平市)▼石川県 美川小(白山市)▼兵庫県 安室東小(姫路市)▼沖縄県 小緑小(那覇市)